

2021年（令和3年）RSウイルス感染症の流行状況（長野県）

2021年（令和3年）8月11日現在
長野県健康福祉部感染症対策課

1 RSウイルス感染症とは

RSウイルス感染症（respiratory syncytial virus infection）は、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、終生免疫は得られないため何度もかかることがあり、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全員が1度は感染するとされています。

2～8日の潜伏期間後、発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、初めてかかった乳幼児の3割は、その後、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難となるなどの症状が出現し、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと進展していきます。1歳未満（特に6か月未満の乳児）や低出生体重児や、心臓や肺の基礎疾患、神経や筋肉の疾患、免疫不全を有する小児の場合には、重症化のリスクが高くなるので注意が必要です。

2 本年の患者発生推移

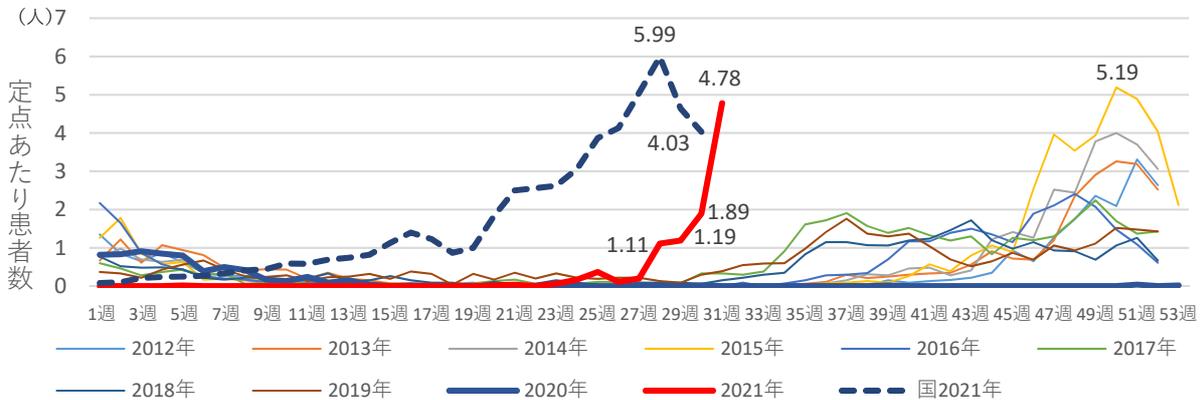


図 RSウイルス感染症週別届出数

長野県では、昨年（2020年）は大きな流行は認められず、すべての週で定点医療機関あたりの届出数が1人未満で推移しました。今年（2021年）は、第28週（7/12～7/18）に1人を超え、第31週（8/2～8/8）には、4.78人となり、過去10年で最大の流行となった2015年のピークである5.19人（第50週）に次ぐ数で急増しています。全国でも第28週に5.99人となっており、感染が拡大している状況です。

また、例年冬季に届出数が多くなる傾向がありますが、本年は夏季に届出数が多くなっています。

しばらく届出数が多い状態が続くことが予想され、今後の届出数の増加が懸念されます。

3 感染経路と感染予防

感染経路は、感染者の咳やくしゃみを吸い込む飛沫感染と手指や物を介しての接触感染です。マスクの着用、流水と石けんによる手洗いや、アルコール製剤による手指消毒、おもちゃや手すりなどこまめに消毒を行うことが感染予防対策になります。

** 感染予防のポイント！ **

- ★ 石けんと流水による手洗い・手指消毒をしっかりと行いましょう。
- ★ マスクの着用をしましょう。
- ★ 子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒しましょう。